

2025年度(令和7年度)子どもが主体となった体力向上計画

福山市立樹徳小学校

2025年度(令和7年度) 新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	57.1	33.3	9.5	0.0
女子	61.9	23.8	4.8	9.5

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	59.5	26.2	14.3	0.0
女子	64.3	26.2	9.5	0.0

運動やスポーツをどのくらいしていますか
(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	38.1	47.6	9.5	4.8
女子	50.0	33.3	11.9	4.8

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	17.13	18.56	34.66	39.68	39.08	9.39	159.76	20.10	52.27

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
女子	16.86	17.55	40.24	40.02	33.59	9.53	156.93	16.67	56.41

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題および要因

情意面

・全体的にみると「運動やスポーツをすることは好き」の肯定的な回答は男子90%以上、女子85%以上である。また、「体育の授業は楽しいですか」の肯定的回答も男子85%以上、女子90%以上と高い数値となっている。5年生児童の実態として、外遊びをしている児童が多いことがこの結果につながっていると考えられる。しかし、運動やスポーツをする頻度が昨年度に比べて減っている。日常的に運動習慣のある児童が少なくなっている。

体力面

・昨年度の結果と比較して、全国・広島県の平均を下回っている項目は少なくなった。しかし、男女ともに20mシャトルラン、男子のソフトボール投げは平均を大きく下回っている。走ることへの苦手意識や普段の遊びや体育の授業で「投げる」活動が少ないことが要因として考えられる。また、男女ともに上体起こしの項目が平均を下回っている。改善はしているが、昨年度も男子は上体起こしが重点課題であったため、取組内容を見直す必要がある。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

・体育科の授業づくりについての研修などで楽しみながら持久力を高めることのできる運動を教員に周知し、各学級の授業始めなどに取り入れる。
・準備運動のポイントを全校で統一し、全クラスで同じように指導できるようにする。
・実態を把握するために体力テストを全学年で実施することを継続していく。

体育の授業以外で行う取組内容

・タイム走記録会やなわとび大会などの行事に合わせて児童が運動に親しむことができるよう委員会が中心となって企画運営する。
・学校の掲示板等で体育の授業始めや自宅でもできる運動を掲示し、児童や教職員に呼びかける。

2026年度(R8年度)の 重点目標値

・男子は「20mシャトルラン」、「ソフトボール投げ」、女子は「20mシャトルラン」の数値の県平均かつ全国平均との差を-1以上にする。
・休憩時間の外遊びを呼びかけて、運動やスポーツの頻度が週に1日以上の割合を男子90%以上、女子85%以上にする。